研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-169		17-076	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

User characteristics of a smartphone app to reduce alcohol consumption
アルコール摂取減少のためにスマートフォンアプリを利用している者の特徴

執筆者

G Claire, C David, W Robert, M Susan, B Jamie, W Adam

掲載誌

Transl Behav Med. 2017 Dec; 7(4):845-853. doi: 10.1007/s13142-017-0477-1.

キーワード	PMID
アルコール、スマートフォンアプリ、介入、デジタル	28315201

要　旨

目的：

Drinks Meter というスマートフォンアプリの利用者の社会人口統計学的特徴および飲酒の特徴を調査すること。また、これらの特徴をアプリ利用者と一般の飲酒者、インターネットアクセスによる他のスマートデジタルデバイスを使用している飲酒者、Drinks Meter をウェブサイト版で利用している飲酒者とで比較すること。

方法：

データは Drinks Meter のアプリおよびウェブサイト、英国民の代表性を有する横断調査（Alcohol Toolkit Study）から取得した。参加者は英国在住で 16 歳以上の飲酒者。取得データは年齢、性別、居住区、性的指向、社会的地位、AUDIT score（Alcohol Use Disorders Identification Test：WHO による問題飲酒行動スクリーニング・ツール）とした。サンプル間（Drinks Meter アプリ使用者 vs 一般集団）で社会人口統計学的特徴や飲酒の特徴の違いを評価するために回帰分析を行った。

結果：

一般集団と比較してアプリ使用者は、若年、南部地方出身、非異性愛者、社会的地位が低くなく、平均 AUDIT score が高い（問題飲酒行動リスクがより高い）傾向があった。アプリ使用者はウェブサイト版の利用者より若年、アルコール摂取やアルコール関連障害が多かった。アプリ使用者は一般集団や同様の介入方策である他のウェブサイト利用者と比較し、より若年であり、アルコール摂取およびアルコール関連障害が多かった。

結論：

飲酒に対してフィードバックを提供するアプリ（Drinks Meter）はアルコール摂取が多く、アルコール関連障害を有する飲酒者により利用されている傾向があった。